

様式第7号（第21条関係）

唐 医 第 2 6 号

令和 7年6月30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県唐津市栄町2588-8

団 体 名 特定非営利活動法人

グローアップナーシングからつ

代表者職・氏名 理事長 渡 邊 尚

電 話 番 号 0 9 5 5 - 7 4 - 6 1 2 5

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による

寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人グローアップナーシングからつ
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

県民が安全安心の医療を受けるには、医療提供体制の充実が必要である。医療提供体制を充実させるには、当地域で不足している医療従事者、特に看護職の確保が不可欠である。現在全国的に地域の看護学校の学生数は減少傾向にある。快適な教育環境の整備に努め、学生数の増加を図りたい。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

看護師養成所の教育環境の整備により、減少傾向の生徒数の増を図り、医療スタッフの不足、特に看護職不足の解消を図る。これにより医療資源が確保され、県民への安全安心の医療提供が可能となる。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

他県からも学生を受け入れることで、卒業後他県の医療スタッフと情報共有を図り、相互に県境を越えたより良い医療提供体制の構築を目指す。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
医療従事者の育成、確保、教育を実施する機関に対する支援事業	①看護学生の増 ②小学生・高校生・高校進路指導教員 ③看護職に対する広報活動	①5月から翌年2月 ②高校2校・小学校2校及び医師会医療センター	10,000	10,000
未就業の医療従事者への復職支援事業	①医療職への復職支援 ②未就業医療従事者 ③就職情報の提供	①4月から翌年3月 ②ホームページが準備中のため個別対応	20,000	20,000
医療職への進学、就職に対する啓発事業	①看護学生の増 ②高校生・社会人 ③ガイダンス開催	①7月から8月 ②看護学校及びオンライン説明会	10,000	10,000
地域医療の維持に必要な環境整備事業	①看護学生の増 ②看護学生・教職員 ③学校公用車の更新 (1,183,640円)・男女更衣室の新設 (3,740,000円)・授業用パソコンの更新 (4,040,850円)	①6月から翌年2月 ②看護学校	8,964,490	8,964,490
計			9,004,490	9,004,490

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		9,231,519
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	9,146,318
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	9,048,250
	前年度控除額(県事務経費)還付分	98,068
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	85,201

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		9,014,490
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	9,004,490
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	10,000
	返礼品等の調達に係る費用	0
	返礼品等の送付に係る費用	0
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	10,000

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	217,029
-------------------------------------	----------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

https://www.karatsu.saga.med.or.jp/kangosenmon/common/npo_gnk2025.pdf